

株式会社メディカルシステムネットワーク
代表取締役社長 田尻 稲雄
(東証スタンダード 証券コード4350)

北海道大学大学院薬学研究院 寄附講座
「ナノ医薬品創剤学分野」への寄附に関するお知らせ

当社連結子会社である株式会社なの花北海道（本社：札幌市中央区、代表取締役社長：大倉康）は2025年4月1日（火）に、株式会社ニナファームジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：那須みずほ）とともに北海道大学大学院薬学研究院に寄附講座「ナノ医薬品創剤学分野（Lab. for Innovative Nano-Pharmaceutical Science）」（以下「本分野」）を開設しました。

1. 寄附分野の概要

- (1) 寄附講座の名称：北海道大学大学院薬学研究院 医療薬学部門
ナノ医薬品創剤学分野
(Lab. for Innovative Nano-Pharmaceutical Science)
- (2) 設置目的：① 疾病予防及び健康維持を目的とするナノカプセルの開発研究
② ポリファーマシーやオーバードーズ問題を解消すべく、薬局ネットワークを活用した社会インフラの実証実験
③ 薬局ネットワークの薬剤生涯教育の拠点として学術情報の定期的配信
- (3) 設置期間：2025年4月1日～2030年3月31日（5年間）

2. 寄附の目的

ナノ医薬品は、薬の有効成分をナノサイズ（10億分の1メートル）の粒子やカプセルに閉じ込めて、体内でより効果的に働かせることを目的としております。主な特徴は以下のとおりです。

- (1) がん細胞など特定の細胞だけを狙って薬を届けることができ、副作用を減少させる可能性がある
(2) 薬の成分をゆっくり放出させ、効果を長期間にわたって持続させることができる
(3) 体に吸収されにくい薬も、ナノ粒子にすることで吸収率を高めることができる

しかし、ナノ医薬品の投与は主に注射によるものであり、医師や看護師などの医療従事者の介入が必要となるなどの課題が存在します。本分野では「飲むナノカプセル」の開発研究を行い、ナノ医薬品の利便性と普及性を高め、ナノカプセルの製品化・販売（実用化）を最終目標としています。

また、多剤併用（ポリファーマシー）や一般用医薬品の乱用（オーバードーズ）の問題解消を目指し、薬局ネットワークを活用したマイナンバーカードの社会インフラの実証実験を行うとともに、次世代薬剤師の養成及び教育拠点の形成を目指します。

ちかくにいる。ちからになる。



本分野の活動の中で、当社グループの薬剤師は下記を目指します。

- ・ 社会人薬剤師の研究の場として活用し、博士号を取得
- ・ 薬剤師の地位向上に貢献し、医師との新たな関わり合いを形成
- ・ 一般社団法人医薬総合研究会と連携して研究成果を定期的に配信し、薬剤師の生涯教育(研修単位取得)に貢献

当社は、「良質な医療インフラを創造し生涯を見守る『まちのあかり』として健やかな暮らしに貢献します」を理念に掲げ、今後も薬局・薬剤師の専門性の向上を図るとともに医療機関との連携・協力の質を高め、地域医療における課題解決に取り組む「地域薬局」として、全国のグループ薬局に展開してまいります。

<北海道大学>

<https://www.hokudai.ac.jp/>

<メディカルシステムネットワーク>

<https://www.msnw.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メディカルシステムネットワーク 経営管理部

TEL : 011-613-7750 FAX : 011-558-7067 E-Mail : info@msnw.co.jp

ちかくにいる。ちからになる。

